

大工技能者等の担い手確保・育成事業  
事業成果報告会

## いしかわの大工技能者等育成研修

---

77

令和5年3月7日

(一社)石川県木造住宅協会



# 令和4年度 いしかわの大工技能者等育成研修((一社)石川県木造住宅協会)【育成】

## 1-1. 全体概要【育成】

実施地域	石川県	
事業期間	令和4年6月30日～令和5年2月9日(約8ヵ月)	
受講者数	実数	育成:10名(男性10名、女性0名)
受講者属性	種別	大工:10名(見習いを含む)
	年齢構成	20歳未満:1名      30歳代:1名 20-24歳:4名      40歳代:1名 25-29歳:3名
座学・実技研修	座学	1回(金沢会場:1回)
	実技	5回(金沢会場:5回)
	計	6回

## 1-2. 研修活動等の概要【育成】

### <実技>

- ①大工職人としての基礎知識・製材体験(丸太から建物)
  - ・道具の仕込みと管理、木材の性質・見極め・扱い方、
  - ・規矩術の基本
  - ・製材見学
- ②大工工事の基礎講座(4回)
  - 実寸大の建築物製作にかかる作業の指導
  - ・木取り、伏せ図の作成、矩計杖の作成、墨付け、各種手刻み、
  - ・電動のこぎり・グラインダーの使い方、
  - ・足場組
  - ・羽柄材の製作・設置

### <座学>

- 労働安全管理について
  - ・加工機械災害防止、墜落・転落災害防止
  - ・安全帯の着用について説明

## 1-3. 事業の効果・成果等【育成】

- 経験年数によつての差は否めなかったが、経験の浅い受講者も今回の実技研修により、大工の心得、大工道具や木材に関する知識や技能が取得できたことがうかがえる。  
グループごとに資材の刻み作業等を行うことにより、コミュニケーション能力も身につけ、さらに、最後に一棟を完成させることで達成感を共有することが出来たと思われる。
- 大工の安全管理について、墜落・転落防止のために安全帯(ハーネス)の使用の重要性や、加工機械の取り扱いの注意点など、日頃の仕事に直結する内容を学ぶことが出来、考査の結果、正解率7割以上の合格となった受講者が8割となっていることから理解度が確認できる。

## 1-4. 今後の課題・改善点【育成】

- 実技研修で時間的に厳しく感じたので、回数を増やして余裕ある作業が出来るようにしたい。
- 大工経験年数をもとに、長い人・短い人を組ませるチーム分けをしたが、経験年数だけでは測れない、素質的な差を感じる場面があった。若手に限らず、学びたい人、スキルアップを図りたい人も対象に広げていきたい。
- 受講生の確保が難しかったので、関連事業者団体へも積極的に協力をお願いしていきたい。

# 令和4年度 いしかわの大工技能者等育成研修((一社)石川県木造住宅協会)【育成】



# 令和4年度 いしかわの大工技能者等育成研修((一社)石川県木造住宅協会)【育成】



大工技能者等の担い手確保・育成事業  
事業成果報告会

# 静岡大工育成PROJECT2022

---

81

令和5年3月7日

(一社)富士山木造住宅協会

---

# 令和4年度 静岡大工育成PROJECT2022((一社)富士山木造住宅協会)【育成】

## 1-1. 全体概要【育成】

実施地域	静岡県 西部地区・東部地区	
事業期間	令和4年8月2日～令和5年1月26日(約6ヵ月)	
受講者数	実数	育成:18名(男性17名、女性1名)
受講者属性	種別	大工:16名(見習いを含む) 設計等:2名
	年齢構成	20歳未満:0名    30歳代:5名 20-24歳:9名    40歳代:2名 25-29歳:2名
座学・実技研修	座学	5回(西部会場:2回、東部会場:2回、 合同1回)
	実技	25回(西部会場:13回、東部会場:12回)
	計	30回

## 1-2. 研修活動等の概要【育成】

木造技能者育成検討委員会が設定している「レベル1」を目標とする木造軸組み在来工法を対象に下記の研修を静岡県西部(静岡木の家ネットワーク)15回と静岡県東部(富士山木造住宅協会)14回の研修会及び合同の労働安全研修会1回を開催しました。

9坪の木造住宅の構造躯体及び台持ち継ぎ・追掛大柱継ぎ・金輪継の手刻みの応用も完成することができました。

- 西部会場(磐田市)  
1年生実技【9坪木造住宅の墨付け、手刻み加工、建て方】  
2年生【廻り階段の墨付け、手刻み加工及び階段の設置】
- 東部会場(富士市)  
1年生【9坪木造住宅の墨付け、手刻み加工及び建て方】

### 《東部西部会場座学共通》

【木造住宅の構造と架構と力の流れ、建築基準法・関連法令、フラット35 木造住宅の標準仕様書】

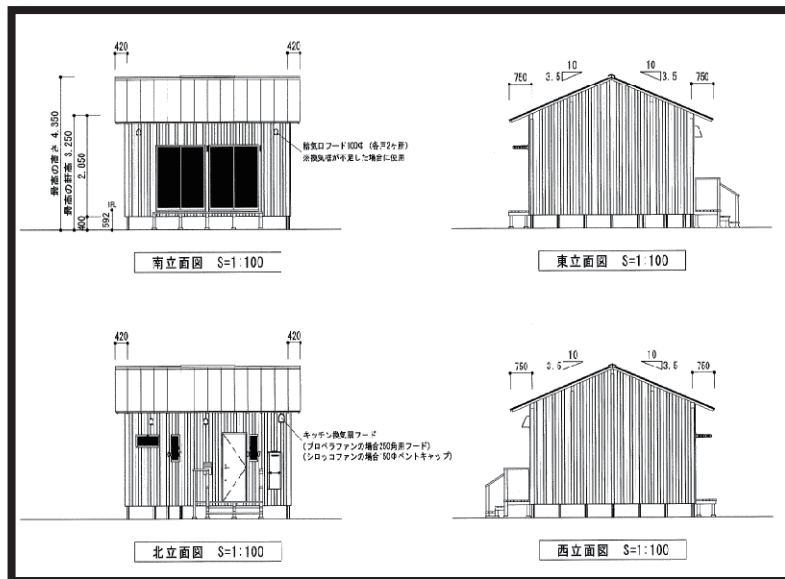
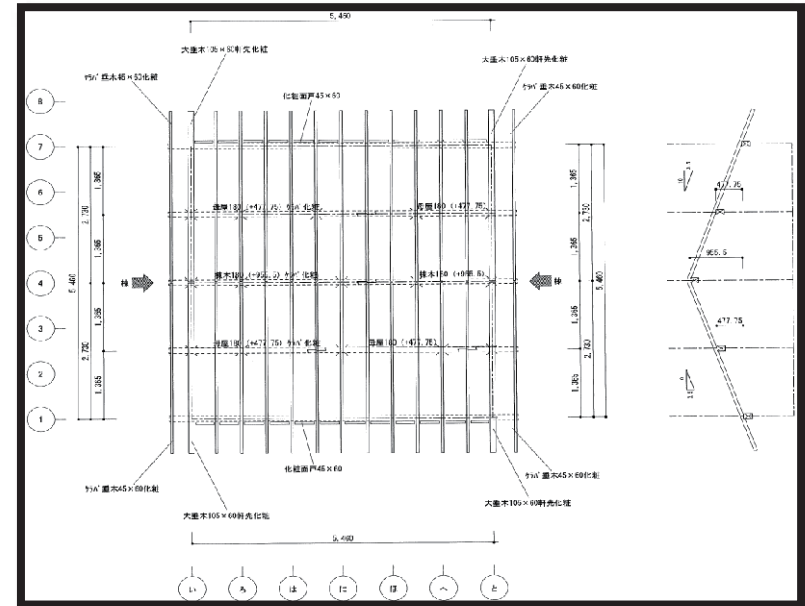
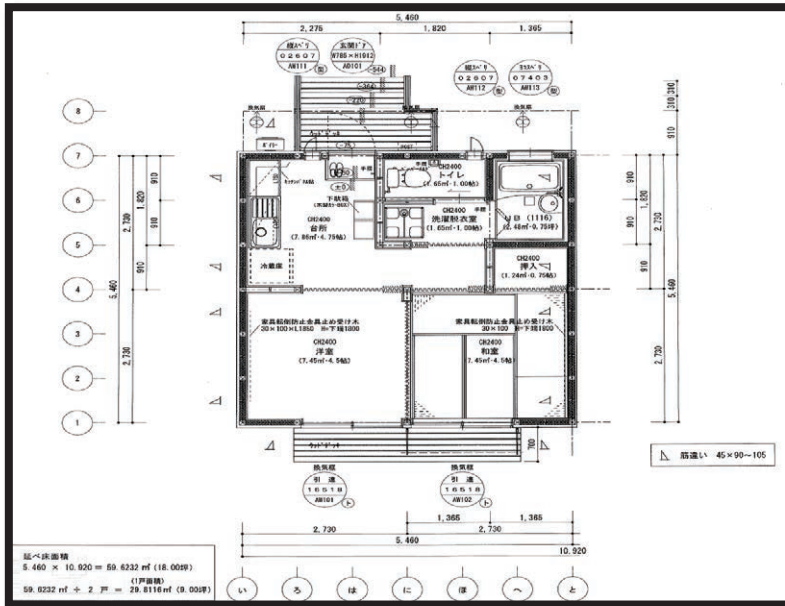
## 1-3. 事業の効果・成果等【育成】

○静岡県のJBN連携団体の富士山木造住宅協会と静岡木の家ネットワークが連携することにより、4年間で81名の新人大工を育成することができました。新人大工は、研修会の受講により、①大工の心得②施工法や寸法の裏づけの習得③機械化された作業の中で失われつつある墨付け・手刻み等の修養④幅広い技術の習得等の成果が得られました。それにより、静岡県内の新人大工育成の体制整備などの実現につながることができました。

## 1-4. 今後の課題・改善点【育成】

- 研修生の中でも技能能力の差があるので、研修会半ば以降個別カリキュラムも必要だと思いました。また、大工仕事や職人技術だけでなく、PCスキルまで求められるようになっているのが大工の今の現状なので、PC座学も取り入れていきたいと思っています。
- また、3年間育成活動をしてきましたが、本取組がまだまだ、静岡県内の新人大工に周知できていないことから、より多く関係団体及び行政等と連携して募集をしたいと思っています。

# 令和4年度 静岡大工育成PROJECT2022((一社)富士山木造住宅協会)【育成】



# 令和4年度 静岡大工育成PROJECT2022((一社)富士山木造住宅協会)【育成】





大工技能者等の担い手確保・育成事業  
事業成果報告会

## 地域ネットワークによる大工技術者確保・育成事業

---

85

令和5年3月7日  
愛知県建設団体協議会

---

# 令和4年度 地域ネットワークによる大工技術者確保・育成事業(愛知県建設団体協議会)【育成】

## 1-1. 全体概要【育成】

実施地域	愛知県	
事業期間	令和4年5月20日～令和5年2月9日(うち約6ヵ月)	
受講者数	実数	育成:58名(男性58名、女性0名)
受講者属性	種別	大工 :17名(見習いを含む) その他(オンライン):41名
	年齢構成	20歳未満:2名      30歳代: 0名 20-24歳:2名      40歳代:12名 25-29歳:1名 オンライン研修受講者の年齢構成は、不明
座学・実技研修	座学	3回(愛知県:3回)、オンライン除く
	実技	22回(名古屋会場:18回、三河会場:4回)
	計	25回

## 1-2. 研修活動等の概要【育成】

- CCUSレベル2に満たない初級大工の育成  
プレカット構造材を用いた木造軸組住宅の大工技能の基礎を教える3か年の3年目として育成プログラムを継続実施し、4名の受講者に対して最終的にCCUSレベル2相当に達することを目指し実施した。
- CCUSレベル2以上相当の大工技能者に向けた継続研修の実施  
大工育成研修を卒業した受講生や、CCUSにおいてレベル2以上相当の技能者に対し継続的な技能習得として短期の実技研修を実施する事で、更なる技術向上意欲の継続と、大工育成に向けた指導者の確保に向けて実施した。
- オンライン研修会を実施  
大工育成の一環として、従来の研修に加え「アスベスト事前調査報告書の作成、現況検査等の知識の習得」「大工技能者の手刻みの基礎(木の見方、木取り、接手編)」を公開しオンライン講習として実施した。
- 育成事業検討会の開催(1回)  
3年間の取り組みの集大成として、新規入職者の育成プログラム(育成カリキュラム)の効果の検証を行い地域性を考慮した育成カリキュラムの検討を行った。

## 1-3. 事業の効果・成果等【育成】

- CCUSレベル2に満たない初級大工の育成  
4名に対して実施し、目標とするCCUSレベル2相当の技能取得が80%以上を目指したが、2人の50%となった。未達者は、次年度も受講予定
- CCUSレベル2以上相当の大工技能者に向けた継続研修  
受講者13名に対して実施、全員が講義内容に対して充実したものとして評価し、CCUSレベル3相当の手刻み技能の習得を全員が達成した
- オンライン研修  
大工技能者の育成として工務店が求める大工の能力向上を図るために、オンライン研修を実施  
41名が受講するも、Webテストが実施できず、理解度チェックは出来なかったがわかりやすいとの評価はあった。

## 1-4. 今後の課題・改善点【育成】

- CCUSレベル2に満たない初級大工の受講生として確保が困難  
長期間の研修となるため現場業務との調整が必須となる。
- 現在実施している初級研修と上級研修の中間に位置する大工技能者への研修が必要  
中級研修を受講することで、上級研修の受講者のすそ野を広げる次年度実施を検討
- 通年研修としてのオンライン研修の受講者のカウント、Webテスト実施の見直しをする

## 令和4年度 地域ネットワークによる大工技術者確保・育成事業(愛知県建設団体協議会)【確保】

### 2-1. 全体概要【確保】

実施地域	愛知県	
事業期間	令和4年5月20日～令和5年2月9日(うち約6ヵ月)	
委員	実数	確保:6名
委員属性	種別	大工・工務店関係者:6名
委員会	委員会	3回(名古屋会場:2回、三河会場1回)
	計	3回

### 2-2. 研修活動等の概要【確保】

地域ネットワークにおける大工仕事情報の共有に向けた実証検証に向けたWGを3回実施。

名古屋、三河の2地域で仕事情報(依頼情報・空き情報)の共有を行い通常業務での大工職人不足を補い、新たな雇用意欲を生むことを目的とした。

1. 名古屋・三河地区でWGを実施し参加者に取り組み説明を実施
2. 検証 : 6月～12月
3. 検証結果 : 用意したWebツールでは、内容の登録そのものに手間がかかるため、仕事情報(依頼情報・空き情報)の登録や更新は殆ど行われず、電話等の直接確認が中心となる結果が出た。
4. 第3回WGにて今後の対応を協議  
ツール等の活用は行わず「工務店グループ」「大工グループ」の連絡先共有のみで直接事業者間での対応することとし、緩やかにツールへの移行を目指すこととした。

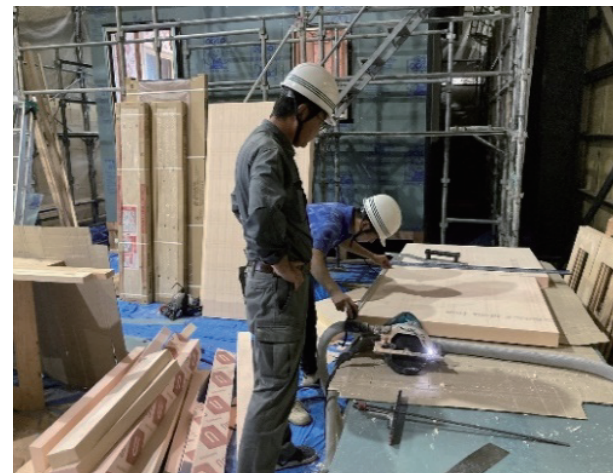
### 2-3. 事業の効果・成果等【確保】

1. 地域ネットワークにおける大工仕事情報の共有に向けた実証検証を、webツールを使い、名古屋、三河の2地域で行った。
2. 実証の結果、メンバー登録は、完了したものの、内容の登録そのものに手間がかかるため、仕事情報(依頼情報・空き情報)の登録や更新は殆ど行われず、電話等の直接確認が中心となる結果が出た。  
この結果、ツール等の活用は行わず「工務店グループ」「大工グループ」の連絡先共有のみで直接事業者間での対応することとした。

### 2-4. 今後の課題・改善点【確保】

1. 仕事情報の共有について  
「工務店グループ」「大工グループ」の情報(基本項目含む)を一瞥できる環境を整備する。
2. 雇用活動の実施  
地域ネットワークとしての雇用活動(募集)の開始する各事業者が、地域ネットワークのメンバーであることを公表し地域としての取り組みとして雇用活動を開始する。

# 令和4年度 地域ネットワークによる大工技術者確保・育成事業(愛知県建設団体協議会)



88

CCUSレベル2に満たない初級大工の育成



CCUSレベル2以上相当の大工技能者に向けた継続研修

WG(委員会)の様様